パレット

第130号　東海美術連盟ニュース
発行日：令和7年10月1日
発行責任者：安　久則

日帰りスケッチ会「鵜の岬」

北支部理事　番場　正男

令和6年度の総会の折、村の福祉バスの運用に変更があるとの情報があり関係機関に翌日伺い確認した。6月からの変更でありドライバーさんの確保が難しく、各週での抽選になるとの事。6月以前であれば希望が叶うとのことから、5月23日(金)の希望予約を確保した。

野外スケッチは、当日の天候がキーポイントとなるが、この際天命に頼ることとし、募集要項を作成・配布した。

年度初めの計画であったが、19名の参加が得られた。催行が近づくにつれ当日の天候を毎日心配しながらの日々であった。

当日、担当ドライバーの助言もあり適当な場所でのトイレ休憩を追加し、「鵜の岬」には予定どおりに着いた。

参加者への車内での案内説明及び駐車場の状況から昼食は早めの喫食を勧めた。

後で聞いた話であるが、当日の数量限定スペシャルメニューの「黒マグロ」が前の客で売れ切れたとのこと。残念！！

計画段階ではレストランの席の団体予約をとも考えたが、その場合海が見えない和室の提案から各自の早めの喫食を勧めて正解だった。

国民宿舎鵜の岬は、31年間宿泊人気No.1を継続してきたが、私の1回の宿泊体験から、7階からの太平洋一望の源泉掛け流しの温泉に加え、魚介類や米、野菜そして「サザコーヒー」をも含めた地産地消。加えて「おもてなし」精神が行き届いているからとの評価。参加者の中には、15回以上も宿泊された御仁がおられたのが羨ましい。

おおむね3ヶ所のスケッチポイントに分かれた様子、咲き始めた睡蓮池とその先のアヤメ園そして太平洋を望む海岸風景等。

私はモネの名画「睡蓮」のイメージを求めて、約3時間スケッチをしたが、頭のスケッチブックにも目の前の睡蓮、和名は未草で未の刻、今の午後2時頃に咲くことから俳句もできた。作句には写実なる言葉もあり、徐々に膨らみ午後2時頃満開になる経過も観察でき、絵画スケッチと俳句までも同時に出来た楽しい時間経過だった。

～名は体を二時には満開未草～

計画予定どおり全員での集合写真の後、帰路に着いた。参加者は美味しい昼食の「食べる」屋外スケッチの「描く」に加えて「駄弁る」を充分に楽しんできました。

私たちは睡蓮を描きます

集合写真、やがて懐かしい写真になります

2025裸婦デッサン会

西支部理事　中田　里美

暑い最中の8月5、6日恒例の裸婦デッサン会が文化センター大会議室で行われました。

均整のとれた素敵なモデルさんを迎え、初日は30名、2日目は、23名の参加者がありました。

募集のちらしも画材店やギャラリーの受付等に置いてもらったり友達にも声かけてもらいました。外部からの参加者も多数あり、収入面でも大いに助かりました。

初日午前中は10分のクロッキー、描いたポーズの中から、どちら側からでも絵になるポーズ、良かれと思うポーズを挙手で選んで、それを午後からの固定ポーズに決めました。

モデルさんは20分間ポーズをとっている間は微動だにしません。聞けば日頃体幹をきたえる運動をしているとか、さすがプロ意識の高さと凄さを実感！

大まかなあたりをつけることから始まり、細部までいくまでには皆さんそれぞれ時間配分が違うようです。全身を入れて描く人はバランスに気をつけ時間をかけていました。

着色もパステルあり、アクリルあり、油彩あり水彩ありで多種多様です。

描く会員は暑いのでクーラーも強くかけたいところですが、モデルさんのことを思うとそうもできずで、モデルさんと折り合いをつけながら温度設定をしました。

2日間かけてのデッサンは目もしょぼしょぼになり体もあちこち支障がでると1日だけという方も多い中、2日間がんばって遠くから来られた参加者もおられ有意義なデッサン会でした。

バランスと色の調整に妥協しません

お悔やみ申し上げます

かねてより入院加療中でありました初代アートロード代表委員・東海美術連盟創立メンバーの門前由弘さんが(80歳)10月14日に亡くなられました。ご冥福をお祈りいたします

7月26日夏休みども作品教室

文化センター大会議室で派遣会員、川﨑志保、川﨑春江、安土重春佐藤久世、春日井由美子、山本啓子、髙野千夏子、木梨るみ子、中田里美、坪井みどり、佐藤富夫、安久則が作品制作にアドバイス

仲支部

関根 幸雄さんに Tea タイム

絵と彫刻を始めたきっかけといつ頃だったか教えてください

子供のころから絵が好きで、20 歳ころに神奈川県立青少年会館の美術教室に足を向けたのがきっかけです。

美術教室ではデッサン・版画・彫刻・油絵を教えていただきました。

制作にあたり、それぞれの苦労点とか、こだわりがありましたら

絵は構図とデッサンに苦労しています。彫刻は具象表現ですが、モデルの内から語りかけてくるものを大切にしています。

内部のものが形を構成する、また女性の美しいフォルムを掴む事がむずかしいのです。

絵と彫刻であきらかに違うと思うことはなんですか

絵は、構図と面を掴み色彩で表現しますが、彫刻は丸い物を丸く作れば立体になります。形をボリュームで掴みつつ人の内面や美しいフォルムと調和が必要です。

年にどのくらい発表の場（展示会）がありますか

サタデー油絵クラブ３回、横浜のグループ展で１回東海美術連盟で２回、春友会で１回、県展、水戸市展、常陸太田市展、常陸太田市美術協会展で各１回です。

現在所属されている団体美術はありますか

無所属で自由にやっています。

これから、やってみたいと思うことまた望むことは

清淡・平淡でありたいと思っています。絵は出来れば人が見て、ほっとする絵で心に残る絵、又もう一度見たい絵を描きたいと思っています。

彫刻は見ている人に深く無限に語りかけてくる形を制作したいと思っています。

あさぎ色の会で人物デッサンする関根さん

公募展だより　入選・入賞おめでとう!

第91回 東光展
4.26～5.10 東京都美術館

洋画30号の部

入　選

「観音堂」　安　久則

第61回 日立市美術展覧会
9.6～9.16 日立シビックセンター・マーブルホール

洋画の部

日立市議会議長賞

「夜明け」　内田　昌弘

アートロード東京北区で研修会

アートロード代表委員　塙　千恵子

10月8日台風22号の心配もなく、会員21名大洋交通バス会社にお世話になり「お札と切手の博物館」「旧古川邸園」「巣鴨」と研修会を行いました。高速道路も思いのほか空いていて、「北トピア」までおまけがつき、ビル最上階まであがり東京の景色を眺めることができました。

博物館では職員さんのガイドで切手の目打ち体験コーナーなどがありました。

昔のお札や私たちが使ったことのある懐かしいお札。現在はキラキラ光るホログラムを重ねたり、透かし模様を用いて、偽造が難しくよりお札の寿命が前よりずっと延びていることなど説明がありました。

２階では世界の切手の展示があり、小さな切手、大きな切手と珍しい切手を観ることができました。

旧古川邸園では薔薇がまだ咲き始めといった具合でしたが、和洋折衷を取り入れたという洋館の中も見学、池のまわりの庭園を散策したあとは「巣鴨」で遅めの昼食をとり、お寺をお参りしながら買い物をして、車中ではビンゴゲームで大きなお札のおつまみ賞品をゲットしながら予定どおり5時30分前ぐらいに集合場所の石神コミセンに帰ってこれました。

旧古川邸前で

Information

2025日展	10月31(金)～11月23日(日)火曜日休館	10:00～18:00 国立新美術館【木梨・中田】
2025東海村文化祭(展示部門)	11月1日(土)～11月3日(月)	9:00～17:00 東海村総合体育館他
第97回新構造展	11月26日(水)～12月8日(月)火曜日休館	10:00～18:00 国立新美術館
令和7年茨城県芸術祭美術展覧会	11月29日(土)～12月14日(日)12月1日、12月8日休館	9:30～17:00 近代美術館
ジュディ小品展	12月2日～12月8日 ギャラリーせらぅぃ	10:00～17:00 (笠間市)【春日井・木梨・中田】
第13回子ども芸術祭	12月6日(土)、12月7日(日)	9:00～19:00 文化センターロビー他 派遣会員
2026アートロードキックオフ	1月18日(日)	10時～ 場所未定
2026東海美術連盟新年会	1月18日(日)	12時～ 場所未定

記事、お知らせがありましたら編集委員まで　パレット編集員：塙・高野(カット)塙携帯080 5682 0625 Eメール：art651222@gmail.com